

令和6年度 学校評価アンケート結果まとめ

あぶくま支援学校

今年度の学校評価アンケートの結果がまとまりましたので、以下の通りご報告いたします。保護者及び学校評議員の皆様には、お忙しい中ご協力をいただき誠にありがとうございました。

今回の結果を受け課題となる項目については、学校全体で改善に向けて具体的な方策を検討し、次年度の計画と実践に生かしてまいります。

評価基準	回答者数	
A とてもよくできている、とてもよくあてはまる	(小学部)保護者 70名(84%)	教員 41名(89%)
B よくできている、よくあてはまる	(中学部)保護者 39名(68%)	教員 30名(100%)
C あまりできていない、あまりあてはまらない	(高等部)保護者 115名(61%)	教員 68名(86%)
D できていない、あてはまらない	学校評議員 4名(100%)	合計367名

保護者、評議員の皆様
評価の結果



学校教育目標	評価項目	評価	小学部	中学部	高等部	評議員
進んで学ぶ 生活に生かす	学校は、「学校経営・運営ビジョン」の実現に向けて、教師間、保護者、関係機関との「対話」を重ね、「児童生徒観」「指導観」をアップデートできる取り組みを進めていますか。	A	(%) 62	(%) 24	(%) 31	(%) 50
		B	37	76	64	50
		C	1	0	5	0
		D	0	0	0	0
進んで学ぶ 生活に生かす	学校は、「自立と社会参加」という目標に向けて、学習活動、学校行事、部活動など特色ある教育活動を行っていますか。	A	(%) 74	(%) 42	(%) 35	(%) 50
		B	25	58	56	50
		C	1	0	7	0
		D	0	0	2	0
進んで学ぶ 生活に生かす	学校は、ICT機器などを活用して、児童生徒が学びやすい環境の整備に努めていますか。	A	(%) 49	(%) 32	(%) 30	(%) 50
		B	44	66	58	50
		C	4	2	8	0
		D	3	0	4	0
【まとめ】 ○どの項目についても評価は高く「A」「B」の数値を合わせるとほぼ全項目で90%近い数値となっており、「進んで学ぶ 生活に生かす」のそれぞれの取り組みが高く評価されています。 ○個別の指導計画や個別の教育支援計画をもとに、今後も一人一人に合わせた学習を行いながら、学びやすい環境の整備に努めていきます。						
みんななかよく 共に働く	学校は、児童生徒の自己実現に向けて、特別活動や作業学習などの「進路・キャリア学習」を通して、個々のニーズに応じた系統的な指導を行っていますか。	A	(%) 67	(%) 24	(%) 22	(%) 50
		B	30	71	66	50
		C	3	5	10	0
		D	0	0	2	0
みんななかよく 共に働く	学校は、キャリア全体計画やキャリア・パスポート、個別の教育支援計画などを活用しながら、「進路・キャリア学習」や適切な進路指導をすることができますか。	A	(%) 71	(%) 40	(%) 33	(%) 25
		B	28	55	62	75
		C	1	5	4	0
		D	0	0	1	0
【まとめ】 ○どの項目についても評価は高く「A」「B」の数値を合わせるとほぼ全項目で90%近い数値となっており、「進んで学ぶ 生活に生かす」のそれぞれの取り組みが高く評価されています。 ○キャリア・パスポートなどを活用しながら、一人一人が自主的によりよい生活を実現できるよう、今後もキャリア発達の視点を取り入れながら豊かな人間性の育成に努めていきます。 ○各学部の委員会活動での朝のあいさつ運動やにじのおか祭では「ステージ企画」を新たに実施し、児童生徒が自ら企画運営しながら、学部を超えた交流をもつことができました。今後も交流の場を広げていきます。						

元気な体 健康に生きる	学校は、児童生徒が楽しく、将来を見据えて目標をもって運動を継続できるよう、運動習慣の確立に向けた指導ができていますか。	A	(%) 73	(%) 45	(%) 34	(%) 100
		B	26	53	60	0
		C	1	2	5	0
		D	0	0	1	0
	学校は、児童生徒の実態や発達段階を踏まえた指導や「性に関する学習」の推進に取り組むことができていますか。	A	(%) 52	(%) 21	(%) 25	(%) 75
		B	38	66	64	25
		C	7	13	10	0
		D	3	0	1	0
	学校は、お子さんの望ましい食習慣の確立に向け、学校給食を活用し、食に関する興味関心を高める工夫をしながら、指導を進めることができていますか。	A	(%) 70	(%) 37	(%) 36	(%) 50
		B	30	58	56	50
		C	0	5	7	0
		D	0	0	1	0
【まとめ】 ○どの項目についても評価は高く「A」「B」の数値を合わせるとほぼ全項目で90%近い数値となっており、「元気な体健康に生きる」のそれぞれの取り組みが高く評価されています。 ○「性に関する学習プロジェクトチーム」を立ち上げ、小学部段階から「性に関する学習」について学校全体で取り組みました。取り組みについては、学校公開において評価をいただきましたが、今後も系統的な指導に取り組んでいきます。						
センター的機能の 充実	学校は、ホームページや学校だより、学級だより等で学校生活の様子を伝えたり、本校の地域支援の取組や情報等を発信していますか。	A	(%) 60	(%) 32	(%) 29	(%) 75
		B	36	60	60	25
		C	4	8	10	0
		D	0	0	1	0
	学校は、地域の特別支援教育を高めるために、教員向けの勉強会を開催し、専門性の向上に向けた取り組みを行うことができていますか。	A	(%) 64	(%) 32	(%) 30	(%) 100
		B	30	60	62	0
		C	6	8	7	0
		D	0	0	1	0
【まとめ】 ○どの項目についても評価は高く「A」「B」の数値を合わせるとほぼ全項目で90%近い数値となっております。 ○教育支援部主催の研修会や学校公開で「ホワイトボードミーティング」について研修会を行いました。校外の教職員にも好評な研修となりました。 ○学校ホームページのほかに「Note+」も活用して学習内容を発信することで、県外の方からも高評価を得ています。						
安全で安心して 学べる学校	学校は、安全で安心な学習環境の整備や環境の工夫したり、いじめ防止基本指針に基づき、児童生徒の尊厳が守られるようにしたり、いじめの未然防止や早期発見、迅速な対応をしていますか。	A	(%) 64	(%) 32	(%) 30	(%) 50
		B	30	60	62	50
		C	6	8	7	0
		D	0	0	1	0
	学校は、避難訓練や不審者対応訓練などを通して体制や対応を見直し、常に安全な教育環境を児童生徒に提供できていますか。	A	(%) 64	(%) 29	(%) 34	(%) 25
		B	35	63	65	75
		C	1	8	1	0
		D	0	0	0	0
	学校は、SNSなどの被害にあわないための「情報モラル学習」や現代的な諸課題を解決できる学習などに取り組んでいますか。	A	(%) 61	(%) 26	(%) 31	(%) 75
		B	36	63	64	25
		C	3	11	5	0
		D	0	0	0	0
【まとめ】 ○今後も児童生徒が安全で安心して学べる学校として、学校全体で教職員が一丸となって取り組んでまいります。 ○いじめの訴えや発見があった際には、迅速に対応し、保護者等と連携を図りながら対応していきます。 ○「情報モラル学習プロジェクトチーム」を立ち上げ、SNS等の正しい使い方などを学んでいます。PTA総会などで保護者にも利用状況や被害事例などを伝え、保護者と連携しながら問題解決に取り組んでいます。						

評価基準	回答者数
A とてもよくできている、とてもよくあてはまる	(小学部)保護者 89名 教員 53名
B よくできている、よくあてはまる	(中学部)保護者 52名 教員 30名
C あまりできていない、あまりあてはまらない	(高等部)保護者 196名 教員 74名
D できていない、あてはまらない	学校評議員 4名 合計 497名



教職員評価の結果

学校教育目標		評価項目	評価	小学部	中学部	高等部
進んで学ぶ 生活に生かす	①授業の充実 ・個別最適化された学びと協働的な学びの実現に向けた授業改善 ・ICT機器などの効果的な活用	学校は、個別の指導計画を基に、児童・生徒の実態を的確に捉える指導を組織的に行っているか。	(%)	(%)	(%)	
		A	17	17	27	
		B	83	83	72	
	C	0	0	1		
	D	0	0	0		
	学校は、学習指導要領を基に、授業のねらいを明らかにし、一人一人に合わせた授業づくりを行っているか。	(%)	(%)	(%)		
A		15	17	23		
B		85	83	74		
C	0	0	3			
D	0	0	0			
学校は、ICT機器などを必要に応じて効果的に活用し、授業を進めているか。	(%)	(%)	(%)			
	A	20	31	35		
	B	80	69	63		
C	0	0	2			
D	0	0	0			
②指導と評価の一体化 育成を目指す資質・能力を明確にして指導と評価の一体化に基づく学習評価	学校は、教科担当者会において年間指導計画を見直したり、単元展開案の作成などを通して、よりよい授業づくりにつなげているか。	(%)	(%)	(%)		
		A	10	14	29	
		B	83	83	68	
	C	7	3	3		
	D	0	0	0		
	学校は、育成すべき資質・能力の三つの柱(3観点)に沿った学習評価の整理ができているか。	(%)	(%)	(%)		
A		22	21	29		
B		74	76	69		
C	2	3	2			
D	2	0	0			

【まとめ】

○どの項目についても評価は高く「A」「B」の数値を合わせると全項目で90%以上の数値となっております。
○「指導と評価の一体化」を今年度の重点目標に掲げ、授業づくりに取り組んでいます。年間指導計画の見直しや、単元展開案の作成などを通して、「何ができるようになったか」を明らかにし、常に評価と改善を行いながら授業づくりに取り組んでいます。

みんななかよく 共に働く	③進路指導の充実 ・キャリア教育の視点を踏まえて作成した年間指導計画や進路の手引き等の資料活用した進路指導・進路相談、関係機関との協働での支援	学校は、保護者・学校・関係機関との連携を図り、『進路指導の手引き』『事業所一覧』などを活用した進路指導を行っているか。	(%)	(%)	(%)
		A	15	28	31
		B	80	65	68
	C	5	7	1	
	D	0	0	0	
	学校は、キャリア教育の視点を踏まえて作成した年間指導計画やキャリア・パスポート、個別の教育支援計画などを活用しながら進路指導・相談をすることができているか。	(%)	(%)	(%)	
A		10	14	31	
B		80	83	66	
C	10	3	3		
D	0	0	0		
④生徒会活動や委員会活動の自発的・協働的な取組	学校は、委員会活動や生徒会活動、学年集会・学部集会、にじのおか祭実行委員会の活動などに、児童生徒が自発的・協働的に参加できるような運営、指導を行うことができているか。	(%)	(%)	(%)	
		A	34	38	49
		B	66	62	47
		C	0	0	4
		D	0	0	0

【まとめ】

○「進路・キャリアプロジェクトチーム」を立ち上げ、小・中・高と系統的にキャリア発達を促す学習に取り組んできました。特に、小学部・中学部段階での進路・キャリア教育について学部を越えて話し合うことで、取り組むべき課題が明確になり、これまでの取り組みを整理しながら授業づくりに生かせるようになりました。
○にじのおか祭などで、これまで以上に児童生徒主体の活動を取り入れることで、児童生徒の自主性や主体性を伸ばすことができ、児童生徒の社会参画する力を伸ばすことができました。

元気な体 健康に生きる	⑤健康の保持増進と 体力向上を目指した 取組	学校は、あぶスポットタイムや体育・保健体育の授業に取り組むことで、児童生徒が健康な体づくりを意識できるよう指導することができるか。	A B C D	(%) 42 58 0 0	(%) 35 65 0 0	(%) 43 53 4 0
	⑥食育の推進 ・給食を活用した食に 関する取組	学校は、生きた教材として給食を活用した食に関する指導では、献立に使用している食品の三大栄養素について理解を深め、バランスよく食べることについて関心を高められるような指導をすることができたか。	A B C D	(%) 17 76 7 0	(%) 31 66 3 0	(%) 24 69 7 0
		学校は、成長段階に応じた食事のリズムや間食の食べ方を考えることができる授業づくりや給食試食会等を実施して、家庭と連携を図りながら取り組むことができたか。	A B C D	(%) 15 76 9 0	(%) 20 76 4 0	(%) 27 60 13 0
	⑦性に関する指導の 推進 ・児童生徒の実態や発 達の段階を踏まえた 取組	学校は児童生徒の発達段階を踏まえて、必要な学習を意図的、計画的に実施することができたか。	A B C D	(%) 20 76 4 0	(%) 20 76 4 0	(%) 31 65 4 0
学校は性に関する学習に活用できる教材や指導段階表の提供を行うことができたか。		A B C D	(%) 12 76 12 0	(%) 21 69 10 0	(%) 27 63 10 0	

【まとめ】

○「性に関するプロジェクトチーム」を立ち上げ、小・中・高それぞれの年代における指導について話し合い、授業改善を行いました。特に、小・中学部段階では、自分の体を清潔にしたり、自分の命や体を大切にしたりすることなどを伝えながら授業づくりを行いました。今後も家庭と連携しながら取り組んでいきます。
○「健康の保持増進と体力向上」、「食育の推進」については、これまで通り保健体育科や家庭科などを中心に組みながら、家庭と連携しながら根気強く指導を行っていきます。

⑧センター的機能の充実 ・地域における特別支援教育(相談・研 修)の充実と関係機関との連携 ・特別支援教育に関する専門性の向上 ・本校の取組や特別支援教育に関する 理解啓発や情報発信	学校は、教員一人一人が地域支援、校内支援についての支援力を高めるために、職員向けの勉強会を開催し、専門性の向上に向けた取り組みを行うことができたか。	A B C D	(%) 42 58 0 0	(%) 21 79 0 0	(%) 35 62 3 0
	学校は、研修会の開催や、出かける支援などを通して、地域の特別支援教育を高める取り組みを行っていますか。	A B C D	(%) 49 51 0 0	(%) 21 76 3 0	(%) 35 62 3 0

【まとめ】

○どの項目についても評価は高く、「A」「B」の数値を合わせると全項目で90%以上の数値となっております。
○夏季休業中に開催した「ファシリテーション」の学習会では、地域の教員に多数参加していただき、「自校でもぜひ活用したい。」という声を多数いただきました。

⑨安全で安心して学べる学校 ・いじめの未然防止、早期発見 ・心身の健康に関する取組 ・学習環境の充実(学校事故防止・環境美化)	学校は、いじめアンケートの作成、調査を行い、いじめ早期発見に努め、一人一人の障がいの状態や発達の段階、特性に応じた共感的な指導を行うことができているか。	A B C D	(%) 37 63 0 0	(%) 31 69 0 0	(%) 46 54 0 0
	学校は、スクールカウンセラー来校相談を実施したり、支援会議を開催したりしながら、チームによる支援体制づくりを行うことができているか。	A B C D	(%) 29 71 0 0	(%) 24 76 0 0	(%) 43 56 1 0
	学校は、危険箇所及び修繕箇所を把握・改善し、学習に適した教室内の整理や安全に配慮した掲示を行うことができているか。	A B C D	(%) 32 63 5 0	(%) 24 72 4 0	(%) 35 62 3 0

【まとめ】

○どの項目についても評価は高く、「A」「B」の数値を合わせると全項目で90%以上の数値となっております。
○いじめについては、早期に発見し、積極的に認知しながら問題の解決・改善に努めていきます。また、スクールカウンセラーや学校医などの関係機関とも連携しながら、心身の健康に関して課題の解決に努めています。
○「不審者対応訓練」や「救命救急講習会」などを実施し、全職員で非常時に対する備えを継続して行っています。